



開催期日 令和5年10月28日（土）～令和5年10月29日（日）

会場 福井県生活学習館 ほか

初等中等教育局参事官（高等学校担当）付産業教育振興室

令和5年10月28日（土）・29日（日）、福井県生活学習館など、福井県内6会場にて、全国の専門高校等で学ぶ生徒が日頃の学習成果を発表する、「第33回全国産業教育フェア福井大会」が開催されました。福井大会では、「発掘せよ!!産業人の原石、未来の輝石」をキャッチコピーに、全国の専門学科や総合学科で学ぶ高校生、特別支援学校の生徒、小・中学生、保護者、教職員のほか、企業・大学・専門学校等の関係者、さらに、多くの一般の方々など、多くの来場者を迎え、またライブ配信も同時に行うことで、魅力ある産業教育の取組を福井県から発信することができました。

続き、最後は福井商業高校チアリーダー部JETSが華やかなチアダンスを披露してくれました。



<チアダンス>

ファッションショーは「Magical Moments」をテーマに坂井高校生活デザインコースが手作りの衣装で来場者を魅了しました。



<ファッションショー>



<生徒原画による案内看板>

福井県生活学習館での総合開会式から幕を開けました。オープニングアトラクションとして、武生商工高校吹奏楽部による「ジェネシス」の演奏から始まり、開会式典、福井商業高校国際経済科による英語での福井県紹介と

メイン会場である福井県産業会館に入ると、科学技術高校製作の福井大会オブジェ「フクイラトル」が出迎えてくれました。来場者による写真撮影の行列ができていました。



<福井大会オブジェ>

各部エリアごとに設けた作品展示や体験・実演コーナーは大盛況となりました。また各部エリアに設置した「映えスポット」で写真を撮ったり、展示作品にWebサイトから「いいね!」を送ったりできるなど、来場者参加型の仕掛けが盛りだくさんでした。



<体験コーナーの様子①>



<体験コーナーの様子②>

全国の高校による成果物の販売はもちろん、福井県内の高校が北陸新幹線福井開業に向けて企業と連携して開発したおみやげ商品を販売しました。おみやげ商品は完売となりました。



<成果物販売の様子>

美方高校が北陸新幹線開業に向けて企業と開発した駅弁「倖福の美か9(みかく)」を、昼食会にて来賓の方々に試食していただきました。



<昼食会(駅弁)>

参加・交流イベントでは、県内部活動の発表や抽選会などを行いました。栃木大会生徒実行委員会との交流では、福井県のマスコット「はぴりゅう」が栃木県のマスコット「とちまるくん」と一緒に、次期開催県のPRをしました。



<参加・交流イベント>

28日の意見・体験発表や29日の作品・研究発表では、各学科を代表する全国の高校生が、日ごろの学習の成果を発表しました。「学びの共有タイム」を設け、意見を交換しました。



<作品・研究発表>

県内唯一の看護学科のある福井工業大学附属福井高校による看護技術発表会を開催しました。



<看護技術発表会>

第22回全国高校生フラワーアレンジメントコンテストでは、「未来の輝石」というテーマで、全国68名の高校生が越前水仙・越前和紙などの資材を用いて素晴らしい作品を製作しました。



<第22回全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト>

第31回全国高等学校ロボット競技大会では、発掘した恐竜化石を駅前広場などに設置するルールのもと、全国の96チームが競いました。



<第31回全国高等学校ロボット競技大会>

全国初となる全国高校生ビジネスアイデアコンテストが開催されました。89エントリーがあり、1次選考を通過した選りすぐりの10チームが福井県生活学習館で発表しました。



<全国高校生ビジネスアイデアコンテスト>

全国高校生クッキングコンテストでは、全国から選ばれた6チームの高校生が、「幸福をよぶ丼ランチ」をテーマに作成した献立で、調理競技とプレゼンテーションに挑みました。



<全国高校生クッキングコンテスト>

第10回全国高校生介護技術コンテストを奥越明成高校で開催しました。全国から出場した各ブロック代表12校が課題に取り組みました。



<第10回全国高校生介護技術コンテスト>

ミニツアーでは、福井県の観光名所である大本山永平寺や一乗谷朝倉氏遺跡博物館を、観光について学ぶ商業科の高校生が案内しました。



<ミニツアー>

「文部科学省事業発表会」では、文部科学省のマイスター・ハイスクール事業の研究指定校で学ぶ生徒たちによる、実践内容や事業を通して学んだ成果等についての発表や展示が行われ、専門高校の優れた教育活動と生徒たちの学習成果を来場者に伝えることができました。



<文部科学省事業発表会>

総合閉会式は福井農林高校郷土芸能部の和太鼓演舞で始まり、次期開催県である栃木県に大会旗を引継ぎました。最後に生徒実行委員会委員長から、大会に携わったすべての方々に向けて感謝の言葉を述べ、閉会としました。



<総合閉会式（大会旗引継ぎ）>

福井大会では各会場の発表やコンテスト等の様子をライブ配信しました。2日間の来場者数は延べ25,000人を超え、ライブ配信の全視聴数は15,000回を超えました。

生徒実行委員会24人は、令和4年6月から活動し、大会後の解散式で役割を終えました。各自の想いを胸にそれぞれの道へ進んでいきます。



<福井大会生徒実行委員会>

次回の第34回大会は、令和6年10月26日（土）、27日（日）に栃木県の「ライトキューブ宇都宮」「マロニエプラザ」などにて開催される予定です。

最後に、本大会の実施に御尽力いただいた多くの方々に厚く御礼申し上げますとともに御参加いただいた皆様から心から感謝申し上げます。